

名稱

〔倭名類聚抄五〕石見美以波國郡

〔運步色葉集伊〕石見石見十三郡

〔日本風土記寄語島名〕石見 一哇彌

〔易林本節用集下〕石見石見州中管六郡南北二郡藻布鹽利多稅貢倍他國也中下國也

〔倭訓栞前編三〕いはみ 石見と書り此國に高角山岩崎山或は銀山など皆嶮石の山なるをもて

名とすといへり又幽齋九州道紀に石見の海のあらきといふふることどもたがはず磯の巖そ

ばだちたるあたりを漕行とあれば其義によるにや床の浦のあたりげに壘を敷たる如き岩な

りといへり

〔諸國名義考下〕石見

和名抄に石見以波美國府名義は字の如くなるか又は石群イシタマの約りにてもあらむかすべて此國

は岩多き國なれば萬葉集に角障經石見之海乃言佐敵久幸乃琦有伊久里爾曾云々とある伊久

里も石の名なり略○中 小篠御野はこの國の海邊おしなべて岩なれば石海國ならむともいへり

さもあるべし

〔冠辭考都六〕つぬさはふ いはのひめ いはれのいけ

万葉卷二に入麻角障經石見之海略○中 此は蘿ツタ這石とつゞきたる也伊の部イノノといへること古

へは角綱ツツナ蘿を相通はしていふが故に蘿を都奈とも都奴ともいへりかの岩綱と書たるを岩

蘿の事也といひしに同じさてこゝに菟怒瑳破赴といふは奴瑳の反奈なれば菟奈の奈を延

て菟怒瑳といひ破赴は蔓の這也且その菟奈と同じき事右にいふが如くて蘿這岩てふこと

也けり語を延ていふは透をすけき淋且万葉に角障經と書たるハ例の借字也字に泥て誤べ

からず